

やな

かすお 和生

地元密着 現場主義

地元の皆様の声を 国政に届けます!

地元在住(大田原市) 新幹線で国会に通い、夕方は地元で皆様のご意見を拝聴しています。

自民党

衆議院議員 **やな 和生 42歳** 那須烏山市 後援会 事務連絡

自由民主党
畜産・酪農対策委員会 委員長代理
家畜伝染病予防対策検証PT 座長代理
水田農業振興議員連盟 事務局次長
米の需要拡大・創出検討PT 事務局次長
国土交通大臣 副部長
国土・建設関係団体委員会 副委員長
安全確保調査会 幹事
北朝鮮による拉致問題対策本部 幹事
司法制度調査会 幹事
衆議院
国土交通委員会 理事
外務委員会 委員

(役職歴)
国土交通大臣政務官兼内閣府大臣政務官
衆議院 農林水産委員会 理事
衆議院 経済産業委員会 理事
衆議院 科学技術・イノベーション推進特別委員会 理事
党総務部 総務
党経済産業部 副部長
党国防部 副部長
党外交部 副部長
党教育再生実行本部 事務局次長
党情報・通信関係団体委員会 委員長
党運輸・交通関係団体委員会 副委員長
党厚生関係団体委員会 副委員長

座右の銘 初心忘るべからず

やな 和生 事務所
〒324-0042 大田原市末広 2-3-17
TEL:0287-22-8706 FAX:0287-22-8708

国土交通大臣政務官・内閣府大臣政務官として、内閣の一員としての職責を全うする。



国土交通大臣政務官



各種会議



現地視察

九州北部豪雨災害に係る被災状況及び復旧状況を視察



石垣航空基地にて海上保安庁職員への激励を行う



中小企業等の金融の円滑化に関する意見交換会

新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組む。

新型コロナウイルスの影響による地元の事業者の苦境を訴え、支援の拡充等、国の万全な支援を要請。

国会質疑



国土交通委員会にて

交通・観光事業者への支援

観光宿泊業への手厚い支援訴え

自民・築氏

自民党の築和生衆議院議員は3日の国土交通委員会で質問し、新型コロナウイルス感染症拡大で苦境に立つ観光宿泊業者をより手厚く支援するよう政府に訴えた。築氏は予約減や融資の返済、新しい生活様式に対応する設備投資に迫られる地元業者の声を代弁。「現状の支援のみでは経営が持たない事業者が続出する」と危機感を示し、国の需要喚起策「Go To キャンペーン事業」開始前の支援拡充の必要性を唱えた。地方自治体向けの地方創生臨時交付金について「観光産業の比重が大きい自治体には手厚く配分されるよう考慮して」とも要望した。

令和2年6月4日 下野新聞

「給付金」 中小・小規模事業者等への支援

条件緩和求める

自民・築氏

自民党の築和生衆議院議員は25日の予算委員会第8分科会で質問、緊急事態宣言再発令に伴い政府が設けた「一時支援金」の給付条件緩和や対象拡充を求めた。支援金は飲食店の時短営業や外出自粛の影響で、1〜3月の任意の月の売り上げが前年比か前々年比で50%以上減った事業者を対象に、最大60万円給付する。築氏は「そもそも50%減は事業継続が難しい危機的状況。そうなる前に支えるのが本来の支援策だ」と指摘。30%減などへの要件緩和を求める事業者の声を伝え、国に再検討を求めた。また、持続化給付金の対象から外れた、法人格のない任意団体が営む農産物直売所なども、「一時支援金の対象には加えるよう訴えた」。

中小企業庁幹部は「無利子無担保融資や補助金でも足りない、とりわけ厳しい経営状況の事業者を支援するもの」と要件に理解を求めたほか、「書類から事業性を判断するのは難しい」として、任意団体を対象とするには困難と述べた。

令和3年2月25日 下野新聞

「雇用調整助成金」 「資金繰り支援」 党内取りまとめ

政策発信

アンテナ

新型コロナウィルスに伴う政府の緊急事態宣言が全国に拡大し、外食需要がさらに落ち込むとみて、「農産物の売り先確保が最優先課題だ」と訴える。一方で、家庭向けへの転換などの対応だけでは、さばき切れない可能性もあるとして、「損失補填(ほてん)的な支援も検討すべきではないか。米国での農家支援策には盛り込まれた」と指摘。「コロナがきっかけの離業者を出さないよう支援していければならない」と強調。

令和2年4月24日 日本農業新聞

所管大臣を訪問し、「雇用調整助成金」のコロナ特例措置の延長、「資金繰り支援」に係る手厚い措置等について、地元事業者の苦境や生の声を伝え、支援の拡充を実現する。



赤羽国土交通大臣に要望し、事業者の苦境を訴える

国会答弁



内閣委員会にて答弁する

行事式典



団体の賛詞交歓会にて挨拶

要望対応



地元の要望活動に対応

国際公務



国際セッションにパネリストとして参加(アルゼンチン)



「第8回G20観光大臣会合」(アルゼンチン)



第17回ASEAN+3観光大臣会合(タイ)

総務会メンバーとして党務に尽力する。



党大会・両院議員総会に次ぐ意思決定機関であり、党運営や国会審議に関する重要事項を審議する「総務会」にて

アジア・太平洋地域 航空担当大臣 級会合に出席しスピーチ(中国)

マーク・フィールド英国外務省アジア・環太平洋担当大臣による表敬訪問

パナマ及びメキシコ訪問 政府要人との意見交換

「地元密着・現場主義」を実践し、地元のお声を代弁して諸課題に全力で取り組む。

令和元年台風19号による被災現場を**実地調査し**、
インフラの改良復旧や農地・農業用施設の早期復旧に係る国の万全な支援を要請。



那須烏山市内の被害状況を現地調査

国会にて国の支援を要請する

整備計画見直し検討

決壊など続発の那珂川
 国土省有識者会議設置へ

台風19号で栃木、茨城両県を流れる那珂川で堤防の決壊などが相次いだことを受け、国土交通省が那珂川（国管理区間）の「河川整備計画」の見直しを検討していることが27日分かった。有識者会議を設置して計画内容を点検し、両県知事の意向なども確認する方針。

同日の衆院国土交通委員会、自民党の築和生衆院議員の質問に対して、同省幹部が明らかにした。

同省によると、台風19号で那珂川では、基準地点茨城県常陸大宮市野口より上流域の平均雨量が戦後最多となり、同地点での水位も観測史上最高を記録。結果として国管理の堤防3カ所、本県管理の9カ所、茨城県管理の2カ所が決壊し、越水なども相次いだ。河川法に基づき策定する同計画は、堤防の強化や川底の掘削など具体的な河川の整備の内容を明示している。那珂川では2016年1月に策定したが、想定を超える流量や降水量があったため、見直しを検討する。

同省水管理・国土保全局長の五道仁実局長は「決壊や越水地点の原因分析も踏まえ、那珂川全体の治水対策を検討する」と述べた。

同省によると、河川整備計画の見直しは18年7月の西日本豪雨で氾濫した高梁川（岡山県）、今年8月の豪雨で大規模な浸水被害が発生した六甲川（佐賀県）などでも行われている。（田崎智晃）

令和元年11月28日 下野新聞

台風被害支援策

国会に「とき」

衆院委で築氏
 自民党の築和生衆院議員は25日の衆院予算委員会での分科会で質問した。築氏は昨年の台風19号の被災農家への支援策を農林水産省にたずねた。水田や水路に甚大な被害が出た那須烏山市の状況を例に挙げ、「復旧が作付けに間に合うよう、あらゆる手段を講じてほしい」と要請。同省幹部は復旧事業の効率化のために適切な入札契約を指導しているとしたほか、作付けが間に合えば大豆などに転作した場合も交付金による支援が可能と説明した。

令和元年2月26日 下野新聞

中小規模・家族経営農家への支援の拡充、再生産可能な農産物価格の維持・確保、土地改良事業の推進のための予算の確保等に尽力。

畜産・酪農対策委員会の幹部として、地元の酪農家を視察
 水田農業振興議員連盟の事務局長として、米価対策について議論

令和元年11月6日 日本農業新聞

顔合わせ信頼関係

「前倒し対策」もうまく使い、主食用米をいかに他の作物に転換するかが肝になります」

12月の寒空の下、関東地方の自民党現職議員（41）が呼び掛けた。2020年度第3次補正予算の「前倒し対策」水田リノベーション事業など、21年産の転作支援策の決定を受けて開いた、若手農家との意見交換会。コロナ禍で一部は圃場（ほじょう）で行った。「なぜ減反をやめたのか。結局、米価は下落した」「転作する農家にもっと魅力ある支援額に」

「意見交換会では、その場で返答できない指摘も上がった。これに対し、「どんどん意見をぶつけ」

「ほしい」と議員。1党の農林部会で代弁したい。それが自分の役割だ。この議員はもとも選挙区外の出身。だが、生産現場の意見を丁寧に集め、国政につなぐことで、関東有数の農業地帯である選挙区に受け入れられてきたこの自負がある。「農村部では選挙の時だけお願いしても支持されない。日頃から顔を合わせて信頼関係を築くのが大事だ」。平日はほぼ毎日、1時間以上かけて新幹線で国会に通い、夜は地元に戻ってくる。衆院選は「いつ解散があってもいいように準備している」というが、コロナ禍で与党に逆風が吹く可能性もある。そんな中、同日は意見交換会後に酪農家や養豚農家も訪問した。「配合飼料が高くなってきた」「コロナの影響で技能実習生が来日できなかった」。その一方で、「こんな声も掛けられた。先生が生懸命やってくれているのは知っているから」

令和3年1月1日 日本農業新聞

豚熱等の家畜伝染病予防対策の強化に向け、プロジェクトチーム座長代理として鋭意取り組む。

党内取りまとめ
 家畜伝染病対策農相に申し入れ

自民P.T

自民党家畜伝染病予防対策検証プロジェクトチーム（P.T）の江藤拓座長らは13日、高病原性鳥インフルエンザや豚熱などの発生予防・まん延防止の対策を野上浩太郎農相に申し入れた。焼埋却地の確保の徹底や、防疫対策を巡る都道府県の役割強化を強く求め、野上農相は「早急に防疫指針や飼養衛生管理基準の見直しに向けて着手したい」と述べた。提言では、埋却地確保を野上浩太郎農相に申し入れた。焼埋却地の確保の徹底や、防疫対策を巡る都道府県の役割強化を強く求め、野上農相は「早急に防疫指針や飼養衛生管理基準の見直しに向けて着手したい」と述べた。提言では、埋却地確保を野上浩太郎農相に申し入れた。焼埋却地の確保の徹底や、防疫対策を巡る都道府県の役割強化を強く求め、野上農相は「早急に防疫指針や飼養衛生管理基準の見直しに向けて着手したい」と述べた。

令和3年5月14日 日本農業新聞

「現場にも政治にも足らざるがあった」と述べ、提言の実現を要請した。

要請後、記者団の取材に応じた築和生P.T座長代理によると、野上農相は、おおむね提言通りに対応していく方針を示したという。

令和3年5月14日 日本農業新聞